

## 5 / 21 つなかりに気づく、つながりを築くワークショップ 進行表

対象 環境学習推進会議連絡員

ファシリテーター 島川武治 環境レイカーズ代表

部活メンバー 鬼塚・西村・山添・三和 他  
(県民活動課)大橋

目的 各課がどのような環境学習を行っているかを共有する  
何か協力体制をもってつながれる事業を模索する。

つながりとは 環境学習としての連携 プログラムの充実(山 川 湖 環境問題)対象を広げる  
実務的な連携 広報媒体を課を超えて行う。予算をだしあう 場所の提供

各課が別々でやっているより、大きな成果が上がる

例)参加人数が増える 予算規模が拡大する 内容が充実する。職員間につながりがもてる  
仕事の分担が少なく、効率的になる

(休憩時間中:机2つを対面で島を作る・・・6~7島) \*部員はスタッフ用の名札を着用

14:00~14:05(5分) 【はじめに】(大橋) 協働部活って何だ

14:05~14:15(10分) 【アイスブレイク】(島川)今日のメンバーは誰だ \*部員は参加者とともに

14:15~14:30(15分) 【パーソナルワーク】(島川)

9月以降の事業で協力体制をもってできそうなものを事業名 目的 対象 時期 事業で大切にしているキーワードを書き込む。

ポストイットにマジックで事業名と担当課を書き込む

事前に見本がスターを示し、何をどのように書き込むのかを確認しておく。

例:何のための事業。何をどのようにする。売りはこれ!悩み事はこれ。

14:30~14:50(20分)【仕分け作業】(島川)

あらかじめ模造紙にうみのこ やまのこ つちのこ エコのこ かわのこ その他の項目でスペースをつくっておき、自分の事業がどこに入るのかを考え、事業名の書いたポストイットを貼り付ける。

14:50~15:35(45分) 【グループワーク】(島川)

各テゴリーに別れ、事業説明と自己紹介をかね、発表する。(パーソナルワークで書いたものを元に紹介する)

発表が終わったところで キーワードと担当課をポストイットに書き込む。(いくつでも)

書き込んだものを模造紙の上に貼り付けながら発表する。

同様のキーワードでまとめる。

\*部員はキーワードをチェック グループワークをイメージする

まとまった担当課同士が集まり、改めて事業内容の説明および事業を行うにあたっての課題、懸案事項 協力するとすればどんなことが出来るかなどざっくばらんに話し合う

\*部員はうまくマッチングさせ、話すきっかけをつくる。また 話

~協働部活プロジェクト(環境学習)~

し合いの動向を観察しながら、つながりをもてそんな課のめぼしを  
つけておく

15:35～15:50（15分） 【発表タイム】（島川）

グループファシリテーター【部員】が話し合いの動向を発表する。

15:50～16:00（10分） 【まとめ】（島川）

今日の話し合いが今後に生かせるように。

第2回があることを告げる。

各事業の柔軟な連携こそが、効果的、総合的な環境学習を構築する。

本年度連携可能な事業については、部活でその実現に向けてフォローアップを行う。

最後に、再度大橋からコメントする。

時間があれば質疑時間をとる。